

鶴岡市 地域まちづくり未来事業計画の推進（29年度は地域振興ビジョンに基づく施策の推進）

事業名	事業費				令和2年度 事業内容（ ）内は前年度当初予算
	R2	H31・R1	H30	H29	
地域振興懇談会運営事業	135万円	135万7千円	266万円	136万9千円	・地域振興懇談会を開催し、各地域の課題解決策や地域の活性化策について協議を進める。
地域まちづくり未来事業 検討会議			8万3千円		
地域まちづくり未来事業 （鶴岡）	3,180万7千円	3,022万6千円			・鶴岡地域の広域コミュニティ組織が、未来に向けて取り組むまちづくり事業を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進する。
地域まちづくり未来事業 （藤島）	1,550万6千円	6,098万7千円	4,990万8千円	503万7千円	1. 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 502万5千円（1,982万3千円） 2. 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 801万8千円（3,948万3千円） 3. ぐらしやすい「藤島」を実感できる生活基盤の再構築 246万円3千円（168万円1千円）
地域まちづくり未来事業 （羽黒）	1,787万9千円 （6,847万9千円）	5,139万9千円	3,495万3千円	211万円	1. 人を惹きつけ魅力ある観光の推進 1,589万9千円（5,031万5千円） 2. 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進 198万円（108万4千円）
地域まちづくり未来事業 （櫛引）	1,291万9千円 （2,320万7千円）	2,191万4千円	5,589万7千円	211万円	1. 果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり 330万円（474万5千円） 2. 農業自然体験に着目した都市農村交流の推進 217万4千円（646万9千円） 3. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進 383万円（575万8千円） 4. コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進 361万5千円（494万2千円）
地域まちづくり未来事業 （朝日）	2,123万5千円 （5,373万5千円）	5,689万9千円	2,955万円	617万4千円	1. 中山間地における定住環境の支援 1,217万円（1,751万4千円） 2. 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興 441万5千円（724万3千円） 3. 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興 465万円（3,214万2千円）
地域まちづくり未来事業 （温海）	3,005万2千円 （3,871万4千円）	4,095万1千円	4,352万1千円	600万6千円	1. あつみ温泉の魅力の向上と販売の創出 416万6千円（2,035万円） 2. 日沿道延伸を生かした鼠ヶ関周辺地域の活性化 20万円（20万円） 3. 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 285万円（335万4千円） 4. 農林水産資源のブランド化 459万7千円（409万5千円） 5. 次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化 31万1千円（33万7千円） 6. 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 1,792万8千円（1,261万5千円）
地域間連携事業				200万円	
合計	1億3,074万8千円 （2億3,279万8千円）	2億6,373万3千円	2億1,657万2千円	2,480万6千円	

※（ ）内はハード事業含む予算額/市総合計画実施計画

藤島民報

2020年 3月15日

第1241号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一（宝徳）
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月200円程度）
3月 14人 6,820円
2月 39人 37,926円

県立庄内農業高校卒業式は世界的な新型コロナウイルスの影響で縮小開催。（2020.03.01）



来賓は同窓会長とPTA会長のみ



第1弾『庄農最高！庄農さ行こう！』



第2弾『マジで_!と言っちゃう特別編』

インターネットで県立庄内農業高校の学校紹介ビデオが話題です。2017年8月に第1弾が作成され大好評。県教育委員会主催の第68回山形県自作視聴覚教材コンクールで最優秀を受賞。教育部門で最優秀を受賞し、今年2月15日に山形市の遊学館で表彰式・発表会がおこなわれました。

19年10月に第2弾が作成され、いずれも楽曲は自作自演で素晴らしい出来です。（写真は庄内農業高校HPから）

ネットで話題、コンクールで最優秀 庄内農高紹介ビデオ

地域まちづくり未来事業3年目
ハード含め2億3千万円
地域まちづくり未来基金を活用した「地域まちづくり未来事業」の新年度予算は、ハード事業含め2億3千万円です。
各地域で作成した未来事業計画に基づき、地域づくりや交流促進、地域産業の振興を図ります。

デマンド交通を、三川町や庄内町へ相互乗り入れできないか



鶴岡市議会3月定例会の一般質問で、加藤 敏一議員は「デマンド交通を三川町や庄内町へ相互乗り入れできないか」と質しました。

他自治体の事例

武田壮一・藤島支所長は、県内におけるデマンド交通の自治体間相互乗り入れの実例を紹介し、検討状況について答弁しました。



「山形市の大郷地区と明治地区で、地元の協議会が運営するデマンドタクシーのルートを中山町に延伸し、相互の住民が利用できる。相互乗り入れではないが、鮭川村のデマンドバスと舟形町のデマンドタクシーが新庄市に乗り入れしている。

飯豊町のデマンドタクシーが長井市及び川西町に乗り入れし、自らの住民のみを隣接する自治体に運んでいる。酒田市では今年4月から、松山地区のデマンドタクシーのルートを庄内町余目に延伸する予定で、利用できる

のは松山地区の住民のみである。」

圏域内の交流活性化

「本市と三川町、庄内町との『庄内南部定住自立圏ビジョン』においては、公共交通ネットワークの確保維持、及び利用促進に取り組

み、圏域内の交流活性化を図るとしている。

藤島地域の長沼地区と八栄島地区は隣接する三川町や庄内町にも生活圏が及んでおり、輸送ニーズがある。

行政域を超えたデマンド交通の運行は、市民の生活実態や移動需要の把握を行い、路線バスなど既存の公共交通と連携を図りながら、地域住民と関係自治体とで検討していく。」と答えました。

世界の国々 「太平洋諸国」

③

青山 崇

しかしアメリカの圧力の中でも、国際的問題である核問題・温暖化問題などに政府ぐるみで行動している。(19年11月24日号・20年2月23日・同年2月16日号)。

元国会議員のアバツカ・アンジャイン・マディソンさん(写真)は女性平和基金の会の招待で来日し、ピキニ核実験によるマーシャル諸島の実態を報告している。



「私たちの国マーシャルの北部では、第2次世界大戦直後から60年代はじめまで、米国が核実験を行ない、島



何年間も人々は実験

モルモットとして扱われ、ロンゲラップは安全だとウソをつかれましたが、結局生きるために島を逃れることになりました」等と話した。

また、2017年成立の核兵器禁止条約は、フィジー・キリバス・マーシャル諸島・パラオ・パプアニューギニア・サモア・ソロモン諸島・トンガ・バヌアツの9か国が賛成している。

さらに1985年、南太平洋非核地帯条約



私物化から独裁へ

白々しいと言わばか真つ赤なと言わばか、この度のウソは相当無理がある。どこまで行つて誰さ聞いても、事務屋だば常識的にぞげだごとしねーぜ・というのが、検察庁の人事に絡んだ言い訳だ。

▲首相を守るためとはいえ、良くこんな事を言い始めるもんだぜ。可哀想なのは頭のいい官僚にそんな事をさせている事だヨ。国家的な損だと思わないのだろうか。一方、官僚達に正義感はないのか。

▲大体、何時それを書いたのか日付が入っていない文書なんてありえねーだろ。事に人事に係わることだぜ。しかも、前例を覆す事を決する内容なんだヨ。

▲思えばこの首相、長年出来なかつたことを人事権を握つたことから無理を強要して来た

(ラロトンガ条約)を締結し、2009年現在、オーストラリア連邦・ニュージールランド・キリバス共和国・クック諸島・サモア独立国・ソロモン諸島・ツバル・トンガ王国・ナウル共和国・ニウエ・バヌアツ共和国・パプアニューギニア独立国・フィジー共和国13か国が加盟している。

ミクロネシア連邦、マーシャル諸島、パラオはアメリカとの自由連合盟約のため未署名である。

からナ。しかし、誰が考えたんだ・口頭決裁とは。良く思い付くもんだヨ。ハンコが押してなけりや誰が係わつたか、誰が了承したのかわからないじゃないか。この件は、ハンコの色は問題にならないんだろ。去年なのか今年に入つての事なのかで、人事院の彼女・可哀そうに首相に合わせて日付を言い変えしていたからネー。

▲事は、三権分立を壊している事と分かつているんだろウナ。トンデモナイ事をしてるんだゾ。首相が悪い事をして捕まらないように画策しているんだぜ。道徳とはなんだ。子供たちに「正義」を語れなくなるゾ。

▲今が、自分が良ければで、首相夫人が公人か私人かを都合よく閣議決定していたが、検察の取り込みにより政治の私物化から独裁になるぜ。(石川)